

2024/6/7

主要プラットフォーム事業者の データ提供状況の調査報告

一般社団法人コード・フォー・ジャパン

調査について

主要プラットフォーム事業者のデータ提供状況について調査を実施した。プラットフォーム事業者による外部へのまとまったデータ提供としては、研究者（Researchers）にデータを提供するプログラム（以下、リサーチャープログラム）と開発者向けAPIの2つがある。

リサーチャープログラム

プラットフォームの透明性や信頼性の向上、学術研究の支援、社会的課題の解決などを目的に、APIやデータセットなどを研究者などに無料で提供している。研究者が申請をおこない、プラットフォーム事業者（もしくは事業者が指定した機関）による審査を通った研究者のみが研究に必要なデータを利用することができる。

開発者向けAPI

開発者（企業含む）向けに提供されているAPIは大きくは以下の3つに分類ができる。本調査はプラットフォームのデータ提供が調査目的であるため、1と2のAPIについて調査を実施した。

1. プラットフォームのエコシステム形成を目的に提供しているAPI
2. ビジネスとしてプラットフォームのデータを有料で提供しているAPI
3. 広告主向けに効率的な広告運用のためのツールとして提供しているAPI

※エコシステム形成を目的に無料で提供されているAPIが一定の利用量を超えると有料になるといったように、分類が重複することもある
一般的な取得方法としては、開発者がアカウントを取得し、利用申請をおこない、プラットフォームから許可を得られた場合にAPIを利用することができる。

調査について

調査方法

調査方法：デスクトップリサーチ原則として各事業者の公式ウェブサイトやドキュメントに基づいている

調査期間：2024年3月～5月

調査内容：利用条件（料金・対象・取得方法）、取得できるデータ（項目、内容）、取得方法（手続き、申請内容）など

調査対象の主要プラットフォーム事業者

1. X
2. Meta
3. Google
4. TikTok Japan
5. LINEヤフー

開発者向けの主なAPI

調査した全事業者が一般の開発者向けにAPIによるデータ提供をしている。APIの利用にあたっては料金や取得できるデータの範囲、レート制限等の制約があり、外部から無制限にデータの取得をすることはできない。

事業者名	API	提供している主なデータ	API料金	主な制限
X	X API V2	Xのポスト内容やエンゲージメント、ユーザーやリストの情報など広範な内容	有料	無料プランもあるが、無料プランは投稿と開発者のデータの提供のみ
X	Enterprise API	Xのリアルタイムや履歴データの大量取得が可能	有料	特になし
Meta	Graph API	主にFacebookのユーザーや投稿、ページ、グループ、イベントなど広範なデータを提供	無料	開発者のアプリケーションを利用しているユーザーの情報のみ
Meta	Instagram 基本表示API	ユーザー自身のInstagramのプロフィール情報や写真、動画、アルバムのデータ提供	無料	開発者自身のアカウントのみ対象。コメント等のデータは取得不可
Meta	Instagram Graph API	Instagramのフォロワー数・投稿数などの基本情報や写真、動画、アルバムのデータ取得	無料	プロアカウントの情報のみが対象で、一般ユーザーのデータは取得不可
Google	YouTube Analytics and Repoting APIs	ビューやエンゲージメント、広告のパフォーマンスなどの統計データの提供	無料	開発者自身のアカウントのみ対象。チャンネル所有者とコンテンツ所有者向け
Google	YouTube Data API	動画のタイトル、説明文、再生回数、評価、コメント、ライセンスなど広範な内容	無料	1日あたり10,000ユニットのレート制限
TikTok Japan	Display API	TikTokのユーザーのプロフィールやフォロワー数、動画、評価などの情報	無料	開発者のアプリケーションを利用しているクリエイターのデータのみ
LINEヤフー	DS.API	Yahoo検索のキーワードのランキングやトレンド、検索ボリューム、ユーザー群などの情報	有料	現在、新規利用受付を停止中
LINEヤフー	Messaging API	LINEのプロフィールとメッセージ	無料	アカウントに紐づくユーザー情報のみ。月1,000超のメッセージ送信は有料

リサーチプログラム

各事業者は独自のリサーチプログラムを研究者に無料で提供している。プログラムの対象となっている研究者やデータへのアクセスはプログラムごとに大きく異なる。EUの研究者のみにデータを提供し、日本国内の研究者が利用できないプログラムも存在している。

事業者名	リサーチプログラム	対象サービス	対象	データへのアクセス
X	Academic Research Access	X	現在は利用不可	1か月あたり1,000万件を上限にリアルタイムデータや履歴データが取得可能
X	X DSA Researcher Application	X	DSAに基づく研究のみ	DSAに関連するEUの研究の一部のみ。詳細は不明
Meta	Meta Content Library and API	Facebook、Instagram	日本を含む世界中の研究者	ほぼリアルタイムのコンテンツ（投稿者やリアクション、シェア数など）
Meta	Ad Targeting Dataset	Facebook、Instagram	日本を含む世界中の研究者・学生	社会問題、選挙または政治に関連する広告のターゲティング情報
Google	Google Request Records	Map、GooglePlay、検索、ショッピング、YouTube	EUの研究者	各サービスのスクレイピングを許可
Google	YouTube Researcher Program	YouTube	日本を含む世界中の研究者	研究に必要な分だけYouTube Data APIにアクセスできる
TikTok Japan	Commercial Content API	TikTok	日本を含む世界中の研究者や一般人	ヨーロッパの有料広告のターゲティング情報や広告主などのデータ
TikTok Japan	Research API	TikTok	アメリカとヨーロッパの研究者	プロフィールなどのアカウントとコンテンツのデータ
LINEヤフー	Yahoo! 知恵袋データ	Yahoo! 知恵袋	大学および公的研究機関の研究者	10%をランダムサンプリング。2022年3月末のデータが最新

X

Academic Research Access

提供対象者

修士課程の学生、博士号取得候補者、博士研究員、大学教員、学術機関または大学の研究員。

利用条件

明確に定義された研究目的があり、Xデータの研究での使用、分析、共有方法につき具体的な計画があること。

アクセス可能なデータ

- X上で公開されているリアルタイムデータや履歴データ
- 1か月あたり1,000万件のポスト

主な申請項目

現在は申請ができないため、不明。申請済みの既存の研究者も利用不可。

参考URL

<https://developer.twitter.com/ja/products/twitter-api/academic-research>

X DSA Researcher Application

提供対象者

DSA第40条第8項および、第12項で定義されている基準を満たす申請者。

利用条件

申請フォームに明確な記載がない。

アクセス可能なデータ

公開されているXのAPIにアクセス可能な模様。申請フォームには必要な範囲や期間を記入する。

主な申請項目

所属組織（大学、研究室、NGOなど）、資金調達（調達額や資金源など）、商業上の利益、データのセキュリティと機密性、研究内容、データの範囲（必要な理由と現在他の手段でアクセスできない理由）、期間

参考URL

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdo0O-D6Kxa3cV4g1JLz2T_0Sk3hdEnTdv8dJmibagCnzJ7kg/viewform

X 開発者向けAPI

開発者が契約するプランに応じて、利用できるAPIの種別が異なる。

Xからデータを取得するためには、少なくともBasicプラン（有料: 月額 \$100）以上の契約が必要。

料金プラン（Twitter API Access Level）の比較

	Free	Basic	Pro	Enterprise
価格	Free	\$100 / 月	\$5000 / 月	非公開
利用可能なAPI	X v2 API のうち、ツイートの投稿 / メディアアップロードAPIのみが利用可能	X v2 APIの基本的なAPIが利用可能	Basic で利用可能なAPIに加え、Search / Filtered Stream APIの利用が可能	Enterprise プラン用APIを含むすべてのAPIが利用可能
取得可能なポスト数	-	10,000 ポスト / 月	1,000,000 ポスト / 月	50,000,000ポスト / 月以上
備考		利用にはAPIのユースケースを提出する必要がある	利用にはAPIのユースケースを提出する必要がある	利用には営業担当者との商談が必要

API

- X API V2：ポスト（投稿）やユーザー情報など、X上にユーザーが作成したデータを取得可能
- Enterprise API：X API V2のAPIに加えて、検索機能やリアルタイムに大量のツイートを受信できる Stream API の利用が可能

Meta

Meta Content Library and API

提供対象者

学術機関に所属する研究者。米国・英国・EU・国連の制裁対象となっている司法管轄区の研究者、および応募者が所属する学術機関はアクセス不可。

利用条件

個々の研究者および研究者の所属機関の両方とのデータ使用契約義務が発生。

アクセス可能なデータ

- Facebook：ページ、グループ、イベントにシェアされた投稿や、ページ、グループ、イベントに関する情報
- Instagram：公開アカウントに設定され、認証バッジが付いているかフォロワーが50,000人以上いるビジネスもしくはクリエイター・アカウントによってシェアされた投稿やアカウントの情報

※Metaが評価中の特定の国のデータは除く

主な申請項目

主任研究者の情報（所属機関、専門分野、Facebookアカウント、コーディング経験の年数、好みのプログラミング言語、機密性の高いデータの利用経験、履歴書など）、研究プロジェクトの概要、EUにおけるシステミックリスクの検出・特定・理解に貢献するかの確認、資金源、研究対象国
※ミシガン大学の政治・社会研究のための大学間コンソーシアム(ICPSR)による審査

参考URL

<https://transparency.meta.com/ja-jp/researchtools/meta-content-library/>

Meta Ad Library tools

提供対象者

Ad Library、Ad Library API、Ad Library Reportは特に制限はない。Ad Targeting Datasetは大学または短大の教員または学生。

利用条件

Ad Library APIはMeta for Developersアカウントが必要。Ad Targeting DatasetはResearcher Platformへの申請が必要。

アクセス可能なデータ

- [Ad Library](#) : Meta製品全体で現在配信されている広告。過去7年間に掲載された社会問題、選挙または政治に関連する広告。EU内のいずれかの地域で掲載された広告に関しては過去1年間分が含まれている
- [Ad Library API](#) : 過去7年間に世界のいずれかの地域に配信された社会問題、選挙または政治に関連する広告。過去1年間にEUに配信されたあらゆるタイプの広告
- [Ad Library Report](#) : 2020年8月以降の社会問題、選挙または政治に関連する広告のデータの検索、絞り込み、ダウンロードが可能
- [Ad Targeting Dataset](#) : 120カ国以上の2020年8月以降の社会問題、選挙または政治に関連する広告のデータにおいて、広告主が選択したターゲティング情報。毎月更新

主な申請項目（Ad Targeting Dataset）

所属機関名、所属機関の位置する国、メールアドレス（学術機関発行）、役職（学生・教員・その他）、証明書

参考URL

<https://transparency.meta.com/researchtools/ad-library-tools/>

Meta 開発者向けAPI

MetaはFacebookやInstagram関連サービスの開発者向けに多数のAPIを無料で提供している。そのうち、データを取得できる主なAPIは下記となる。

Graph API

Facebookのデータ取得や管理などをおこなうことができるMetaの主要なAPIである。主にfacebookの情報だが、WhatsAppの情報も一部取得可能。Graph APIでは、開発者がプラットフォームに登録したアプリケーションを利用しているユーザーのデータのみが取得可能(任意のデータを取得できるわけではない)。

ユーザーのプロフィール情報や友達、投稿、いいねしたページ、グループなどの情報が取得できる。ユーザー(個人)以外にもページやグループ、イベント、アルバムなど広範なデータを取得可能。

APIではユーザー数などに応じたレート制限も行われている。このレート制限はInstagram 基本情報APIとInstagram Graph APIにも適用されている。

Instagram 基本情報API

開発者自身のデータにのみアクセスすることができる。

Instagramのプロフィール情報やメディア(アルバム・写真・動画)のデータが取得可能。コメントやリール、ストーリー、インサイトなどは取得できない

Instagram Graph API

Instagramプロアカウント(ビジネスアカウントとクリエイターアカウント)のデータにアクセスすることができる。一般ユーザーのアカウントにはアクセスできない。プロアカウントのフォロワー数や投稿数などの基本情報に加えて、メディア(アルバム・写真・動画)に関するデータが取得可能。ハッシュタグ検索やメンションのついた投稿を取得することもできる。ハッシュタグ検索は日で最大30件などの制限もある。

Google

Google Request Records

提供対象者

EUの研究者や非営利団体。※今後拡大される可能性ありと記載

利用条件

YouTube Researcher Programへの同意。

アクセス可能なデータ

- Google Map：クラウドベースのソリューションを通じた公開データへのアクセス
- Google Play：スクレイピングの限定的な許可
- Google 検索：Search Researcher Result APIの利用
- Google ショッピング：スクレイピングの限定的な許可
- YouTube：スクレイピングの限定的な許可

主な申請項目

所属機関（学術機関・非営利団体・政府関連研究機関・独立研究機関）、所属機関の国（EU加盟国から選択）、連携する機関の有無、研究対象の研究課題、必要なデータ、方法論、研究のタイムライン、調査するシステムリスク（違法コンテンツ・基本的人権・公衆衛生・政治プロセスから選択）、資金源、所属機関が商業的利益から独立している証拠

参考URL

<https://requestrecords.google.com/researcher>

YouTube Researcher Program

提供対象者

学位を授与できる認定高等教育機関に所属する学生、研究目的の職員、教員。

利用条件

- 明確な研究目標を持ち、研究成果を発表する意思とデータ分析の経験を有すること
- AlphabetまたはGoogleと一切関係がないこと（例：インターン、派遣社員、ベンダー、コンサルタントとして働いていないこと）
- 所属機関によるデータの取扱いに関する保証
- 定期的なコンプライアンス監査
- 研究結果の公表（オープンアクセス）、公表前の事前通知

アクセス可能なデータ

- 研究に必要な分だけYouTubeの公開データにアクセスできる（YouTube Data API（次ページに記載）へのアクセス）
 - 動画のタイトル、説明文、再生回数、評価、コメント、ライセンスなど

主な申請項目

所属機関名、役職（教員・ポスドク・博士課程・スタッフ・その他）、研究タイトル、研究公開予定日、研究内容、政府や非政府機関からの援助の有無、YouTube API サービスへのアクセスと使用状況

参考URL

<https://research.youtube/>

YouTube 開発者向けAPI

GoogleはYouTube関連サービスの開発者向けに多数のAPIを無料で提供している。そのうち、データを取得できる主なAPIは下記の3つとなる。

YouTube Analytics API

開発者が管理するYouTubeチャンネル・コンテンツのデータのみが取得可能で、開発者が管理していないチャンネル・コンテンツのデータは取得できない。アクティビティや広告のパフォーマンス、推定収益に関連する測定値、視聴者のデータなどをリアルタイムで取得できる。

YouTube Reporting API

YouTube Analytics APIと同じく開発者が管理するYouTubeチャンネル・コンテンツのデータのみが取得可能。

取得できるデータもYouTube Analytics APIと同等だが、リアルタイムデータではなく、CSVでの取得となる。大量のデータを取得するタイプのサービスに利用するのに適したAPI。

YouTube Data API

開発者が管理していないチャンネルのデータも含めて広範なデータが取得できる。

チャンネルや動画のタイトルや説明、日時などの詳細情報の他、ユーザーのアクティビティ(動画の評価・共有・お気に入り登録・動画のアップロードなど)やコメント、カテゴリー、不正行為の報告に関する情報などのデータが提供されている。

プロジェクトごとに1日あたり10,000ユニットのクォーターが割り当てられる。アクティビティやチャンネル、動画、コメントなどのユニット消費は1ユニットで、最もユニットを消費するのは動画挿入の1,600となっている。1日10,000ユニットで不足する場合は、追加の割当の申請も可能。

TikTok Japan

Commercial Content API

提供対象者

一般人及び研究者。地理的な制約は無い。

利用条件

特に無し。

アクセス可能なデータ

EUやEEA、イギリス、スイスの以下のデータ。

- 広告の公開日、最終閲覧日、ターゲティング情報、広告を見た人数など
 - 非承認となった広告に関するデータも含まれる
- 広告主
- 投稿された動画のリンク、クリエイターのユーザー名、投稿日、再生回数

主な申請項目

Developer accountが無いとアクセスできないため、詳細不明。

参考URL

<https://developers.tiktok.com/products/commercial-content-api>

Research API

提供対象者

米国または欧州の非営利学術機関に雇用されている研究者。

利用条件

- 研究分野での実証可能な学術的経験と専門知識を有すること
- 博士課程の学生は教授または論文アドバイザーからの推薦状が必要
- 研究機関の倫理委員会の承認

アクセス可能なデータ

18歳以上のユーザーの以下のデータ。

- アカウント情報（ユーザープロフィール、フォロワー数、フォロー数など）
- コンテンツの情報（作成者、説明文、いいね数、閲覧数、ハッシュタグ、コメントなど）

主な申請項目

Developer accountが無いとアクセスできないため、詳細不明。

参考URL

<https://developers.tiktok.com/products/research-api/>

TikTok 開発者向けAPI

TikTok関連では開発者にTikTok for DevelopersとTokTok for Businessを提供している。TokTok for BusinessはTikTokを利用する企業の広告運用や効果測定を目的としているため、本調査では対象外とした。

TikTok for Developersでは、Display APIとContent Posting APIを開発者向けに無料で提供している。Content Posting APIは投稿用のAPIであるため、Display APIについて調査をおこなった。なお、Research APIとCommercial Content APIもTikTok for Developersのひとつとして位置づけられている。

Display API

Display APIは、ユーザーのサービスにTikTokクリエイターのプロフィール情報や動画を表示するためのAPI。開発者のアプリケーションを利用しているクリエイターの情報のみを表示することができる。

ユーザー名やフォロワー数、いいねの総数、動画数などのプロフィール情報や動画のタイトルやいいね数、シェア数、視聴回数などのデータを取得することができる。

LINEヤフー

Yahoo! 知恵袋データ

提供対象者

大学および公的研究機関の研究者。

利用条件

- 利用目的は情報学に関連する学術研究に限定
- 国立情報学研究所を通じたデータの提供
 - 利用者と国立情報学研究所との間で次のように契約を締結（押印し、郵送が必要）

アクセス可能なデータ

- 2019年4月1日－2022年3月31日に投稿され解決した質問の10%をランダムサンプリングしたものと、それらの各質問に対するすべての回答（質問数：約206万、回答数：約514万）
- 質問のカテゴリ、質問・回答のタイトルおよび本文、投稿および解決の日時、ベストアンサーフラグ、投稿デバイスなど

主な申請項目

法人名（研究室単位での申請）、研究代表者、研究グループ構成員、使用目的、関連研究実績

参考URL

https://www.nii.ac.jp/dsc/idr/yahoo/chiebkr3/Y_chiebukuro.html

Yahoo 開発者向けAPI

Yahoo関連では2種類のソリューションを提供しており、今回はDATA SOLUTIONを調査対象としたが、補足的にYahoo Developer Networkについて説明する。

Yahoo!デベロッパーネットワークでは、5つのAPIを提供している。

- ショッピング
 - Yahoo!ショッピングが持つ日本最大級の商品データベースや最先端のEC機能を直接利用して、アプリケーションを作成できる
- Yahoo! Open Local Platform（地図）
 - 多彩な地図表示、店舗・施設検索、ジオコーディング、ルート検索、標高データ取得などが可能
- テキスト解析
 - 日本語の解析
- 求人
 - 地方公共団体が収集した求人に関するデータを提供
- ニュース
 - AIを利用してコメントを評価する技術のAPI

上記の通り、ヤフーニュースなどのコンテンツに関する情報を提供するAPIは無い。

また、Yahoo!デベロッパーネットワークが提供するWebサービスは、利用者自身の便宜をはかる非商用目的のみの使用。ただし、商用目的で使いたい法人は、相談可能。



<https://developer.yahoo.co.jp/sitemap/>

Yahoo 開発者向けAPI

DATA SOLUTION

Yahooの保有するデータを活用して、利用者の事業や研究に最適なソリューションを提供するサービス。

提供されているサービス

- DS.INSIGHT：検索、位置情報等のビッグデータ分析ツール
- DS.ANALYSIS：Yahooのデータアナリストにオーダーメイドな課題解決依頼できる
- DS.API：BIツールや自社環境でビッグデータを活用できるAPI
- DS.DATASET：特定のテーマのビッグデータを自社分析環境に連携。自業界・製品カテゴリ毎にデータ可視化・分析したい場合に利用可能



<https://ds.yahoo.co.jp/>

Yahoo 開発者向けAPI

DS.API

下記のデータを取得可能。現在、新規利用受付は停止中

- Search Ranking：指定キーワードに関連するキーワードの情報をランキング形式で取得
- Search Trend：指定期間において検索トレンドが上昇しているキーワードのリストを取得
- Map Metrics：指定キーワードに関する都道府県別の特徴などエリア属性に関する情報を取得
- Search Volume：指定した期間のキーワードの検索ボリュームを取得
- Search Journey：指定したキーワードを起点に前後の検索情報を取得

費用

月額基本料：10万円

API利用料（従量課金）

Search Ranking API 3円 / リクエスト

Search Trend API 1円 / リクエスト

Search Volume API 5円 / リクエスト

Map Metrics API 1円 / リクエスト

Search Journey API 15円 / リクエスト"

※最低契約期間6ヶ月

LINE 開発者向けAPI

LINEはMessaging APIをはじめ、5つのAPIを提供している。ユーザーに関する情報を取得できるAPIであるMessaging APIを調査した。

Messaging API

開発者のLINE公式アカウントに紐づくデータ（友だち登録してくれている）のみを取得できる。取得できるデータは、ユーザーの表示名、言語、プロフィール画像、ステータスメッセージである。

EUにおける研究者へのデータアクセス提供状況

欧州委員会はデジタルサービス法(DSA)の対象となる超大規模オンラインプラットフォーム(VLOP)および超大規模オンライン検索エンジン(VLOSE)のプロバイダーによる研究者へのデータアクセスの提供を調査したレポート「[Status Report: Mechanisms for Researcher Access to Online Platform Data](#)」を2024年4月に発行した。以下はその概要である。

DSAの以下の規定に基づき、事業者は研究者にデータへのアクセスを提供している。

- DSA第40条12項：VLOP/VLOSEのプロバイダーに対し、「オンラインインターフェースで公開されているデータ」を学術および市民社会の研究者に提供することを義務付け
- DSA第39条：VLOP/VLOSEのプロバイダーに対し、広告の公的リポジトリを維持することを義務付け

事業者の対応:

1. パブリックコンテンツへのアクセス
 - a. API
 - b. スクレイピング許可
2. 広告コンテンツへのアクセス
 - a. API
 - b. 検索可能なウェブインターフェース

主な内容:

- 利用可能なデータや提供方法はプラットフォームによって異なる
- DSAに従ってEUの研究者のみを対象とするプログラムがある一方で、一部プラットフォームはEU外の研究者にもアクセスを明示的に許可
- 大学等の研究者だけでなく、NPOなどの非営利団体にもデータアクセスを許可しているプラットフォームが存在
- 既存の開発者向けAPIへの無料アクセスを許可するプラットフォームと、研究者向けに新しいAPIを導入しているプラットフォームがある
- 多くのプラットフォームが申請プロセスを条件としデータアクセスを提供
- 研究者に対し、データ更新、出版前審査、オープンアクセス出版などの条件に同意するよう要求